



7月28日

野々市じょんからまつり開会式で
あいさつをする栗市長

平成30年8月6日

連日、記録的な猛暑が続いております。この天候はまだまだ続くようです。今年1月、2月の豪雪でも感じましたが、私たち人間は自然の脅威にはあらがえないことがあります。先の西日本を中心に豪雨に見舞われ、犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈りし、また被災地、被災者の皆さんにお見舞いを申し上げます。

7月28日、29日に恒例の「野々市じょんからまつり」が開催されました。これまでにない予想がつかない経路で進む台風12号の状況を気にしながら開催を決定したのですが、結果的には多くの皆さんのご来場をいただきました。

どこのテナントも、かなり長い行列で待たれていました。そんな状況でありながらも皆さんの表情がなごやかでにぎわいを楽しまれているような雰囲気を感じました。災害協定を結んでいる京都府の城陽市観光協会の皆さんも3月の「椿まつり」に引き続いてご参加され、特産の梅干やお茶など、春にも買ったものがまた買えてよかった、とのご来場の方からのお声もありました。また、国際交流ブースも大変な人気で、これまでにない雰囲気の場所ができたと思います。

これまで通りのものを大事にしていく部分と、さらに新しい試みや企画を取り入れる部分、それが混ざり合い「野々市じょんからまつり」が一層広がれば、さらなる発信になります。台風対策で実行委員会の皆さんにも大変なご負担をお掛けいたしました。ご来場の皆さんの笑顔を見るとお疲れやご苦労も吹き飛んだのではないかと思います。

また、同じ28日には第66回石川県消防操法大会が県消防学校で行われ、白山野々市川北消防連合会を代表して参加した第2分団が小型ポンプ操法の部で見事優勝を勝ち取りました。訓練を積み重ねられ、平常時の力を自然に出されたことにより得た結果ですが、並大抵ではない努力の賜物だと思います。日ごろから野々市を守ってくださる団員の皆さんがとても頼もしく思えます。10月19日に富山市である全国大会に出場されますが、ここでも持てる力を遺憾なく発揮され、ご活躍されることを願っております。

さて、今年も今月19日に市の総合防災訓練が行われます。これまで市全体で取り組む訓練を5年計画で進めてまいりましたが、今年はその5年目、最後の年になります。安否確認や要支援者の支援がしっかりできているか、拠点避難所の運営についてもご参加いただく市民の皆さんのご協力もいただかなければなりません。その手順や手段の総仕上げの意味で確認できればと思っております。

災害そのものは日ごろからあるものではありません。万が一のときは日ごろの常識が通じないことをまず思ってください。来年以降の防災訓練は現在のところ、具体的には決めてはおりませんが、今年も含めて取り組んできたことで市民の皆さんの感想やご意見をいただき、より効果的に取り組む内容を洗い出していこうと考えております。

大変暑い中での防災訓練となるとと思いますが、水分の補給など熱中症対策を十分取られて、ご協力をお願いいたします。

朝夕の空気に秋を感じられるのは、いつになるかと待ち遠しい限りです。